



「地域の皆さんの生命  
や財産を守りたい」

塚本<sup>ひろし</sup>宏司さん  
(上坂田)

指揮者の力強い号令の下、5人の選手たちが消防車から次々にホースを接続しながら伸ばし、およそ60m先の火点に向けて勢いよく放水。実際の消火活動さながらの動作の規律とタイムを競う、消防ポンプ操法競技。塚本さんは、新治支団第1分団第4部の部長兼指揮者として、7月に行われた土浦市消防ポンプ操法競技大会でみごと優勝。続く10月には、土浦・石岡・かすみがうらの3市の代表で行われた、茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会でも敢闘賞(第2位)に輝いた。「新治地区大会では、市の大会よりも緊張せずに競技でできました。自分の号令が、出場した指揮者の中で、一番大きく元気がよかったです」と照れくさうに話す。

塚本さんの所属する第4部は、市の大会に向けて4月中旬から週3回、毎晩午後8時から10時まで訓練を積み、優勝後も新治地区大会に向け、合わせて6か月もの長い間訓練を続けた。「選手を含めた団員たちが、仕事をもちながら、毎回訓練に参加するのは、本当に大変なことでした」と部長としても、部を取りまとめなければならなかった大変さを話してくれた。

操法大会が終わった後も、21人の団員とともに月2回、消防車などの点検を行うため、活動は休みなく続けられていく。「冬の寒い時期に、深夜から明け方に火災が発生し、出動するときが一番大変です」と苦笑いしながら話す塚本さん。日ごろから地域住民の生命や財産を守る献身的な活動に、大いに感謝したい。

子ども作品展



山ノ荘小 6年  
岩瀬 萌さん

る広  
夢が

山ノ荘小 6年 岩瀬 萌



山ノ荘小 5年  
佐藤 友香さん

く花  
町さ

山ノ荘小 5年 佐藤 友香



「ふだん見ているベランダ」  
山ノ荘小 6年  
和田 泰斗さん



「ピアノカをふく友達」  
山ノ荘小 4年  
須田 彩美さん

